※令和４年度以降入学生用

学校番号	１０１７

令和５年度　農業科

教科	農業	科目	総合実習	単位数	４単位	年次	２年次
使用教科書	「農業と環境」　（実教出版）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

基本的な野菜栽培を通して栽培の基礎を学びます。郊外実習地で実習を行い、生産者の視点を養います。
一般的な品目の野菜の栽培知識を養い、圃場での実体験をして加工実習を行います。
園児さんとの交流授業を通してヒューマンサービスについても学んでいきます。

2　学習の到達目標

野菜栽培の基礎を学ぶ。農業の栽培と加工に関する体験的な学習を通じて、総合的な技術を習得し、農業への理解を深める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	野菜の生産と栽培管理・食品加工などについて、生産と技術に関する基礎的な知識を身につけ、野菜生産の特性と栽培のための環境や技術の重要性を理解している。	野菜の生産と栽培管理・食品加工などについて諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的な知識と技術を基に、課題を適切に判断すると共に、科学的に捉えて合理的に解決し表現する創造的な能力を身につけている。	校外実習地に早く来る。 栽培実習においてこちらの指示があるまで畑から出ない。 交流授業時、やその準備段階で主体的に活動ができている

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	野菜の種類と生産	春撒き野菜の生産特性と栽培技術 ①　播種　育苗 ②　移植・栽培管理 ③　栽培管理 収穫・販売・利用	a: 春夏野菜の生育特性と栽培について関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b: 春撒き野菜の生育特性と栽培について課題を見出し、その解決をめざして思考を深め、判断・表現する姿が見られる c: 春夏野菜の生育特性と栽培について、基礎的な技術を身に付け、その技術を活用している。	定期考査 小テスト	レポート	座学や実習の態度観察

※令和４年度以降入学生用

	野菜の加工	夏野菜を利用した加工	a: 有機栽培や管理について理解し、基礎的な知識を身に付けている。 b: 有機栽培や管理について課題を見出し、その解決をめざして思考を深め、判断・表現する姿が見られる。 c: 有機栽培や管理について課題を見出し、その解決をめざして思考を深め、判断・表現する姿が見られる。	小テスト	レポート	実習態度観察
2	有機野菜栽培 水耕栽培	① 播種　育種 ② 移植・栽培管理 ③ 栽培管理 収穫・販売・利用 ① 基礎知識　装置等の知識の習得 ② 播種　栽培	a: 有機栽培や管理について理解し、基礎的な知識を身に付けている。 b: 有機栽培や管理について課題を見出し、その解決をめざして思考を深め、判断・表現する姿が見られる。 c: 有機栽培や管理について課題を見出し、その解決をめざして思考を深め、判断・表現する姿が見られる。	定期テスト	レポート	実習態度観察
3	野菜の種類と生産	① 播種　育苗 ② 移植・栽培管理 ③ 栽培管理 収穫・販売・利用	a:秋まき野菜の栽培について、基礎的な技術を身に付け、その技術を活用している。 b:夏野菜との栽培方法、特性の違いや秋冬野菜の課題を見出し、その解決をめざして思考を深め、判断・表現する姿が見られる。 c:有機栽培や管理について課題を見出し、その解決をめざして思考を深め、判断・表現する姿が見られる。	定期テスト	レポート	実習態度観察
	課題研究	実験実習	a:圃場実験を通して栽培にてきした環境を作ることができる。 b:実験の結果考察を発表することができる。 c:自分の研究テーマについて班員と協力することができる。	スライド及び発表原稿確認	レポート	発表準備観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度